

埼玉県の腸管系病原菌検出状況（2012）

倉園貴至 近真理奈 砂押克彦 青木敦子

Enteropathogenic Bacteria Isolated in Saitama, 2012.

Takayuki Kurazono, Marina Kon, Katsuhiko Sunaoshi and Atsuko Aoki

2012年に埼玉県内で分離・届出が行われ、その性状確認等を衛生研究所で行った三類感染症の腸管系細菌は、赤痢菌9株、腸管出血性大腸菌86株であった。コレラ菌、チフス菌およびパラチフスA菌の分離はなかった。今回は、分離された菌株の血清型別、毒素産生性等の検査成績及びその傾向について報告する。

海外感染例は、赤痢菌8例、腸管出血性大腸菌1例であった。国内感染例は、赤痢菌1例、腸管出血性大腸菌85例であった（表1）。

表1 三類腸管系病原菌検出状況

	赤痢菌	腸管出血性大腸菌	計
海外感染例	8	1	9
国内感染例	1	85	86
合計	9	86	95

1 赤痢菌

県内で分離された9株の内訳を表2に示す。血清型は、*S. sonnei*が7株と最も多く、*S. flexneri* 1bおよび*S. flexneri* 3aが1株ずつであった。*S. flexneri* 3a以外はすべて海外渡航歴のある患者から分離された。推定感染地が海外のものでは、トルコが4株と最も多く、次いでインド3株、フィリピン1株であった。推定感染地がトルコとされた4株は患者全員が同じツアーに参加しており、血清型も全て*S. sonnei*であった。海外渡航歴がなく、国内感染が疑われた1例は都内の飲食店での喫食歴があり、その前後で当該店利用者から同一血清型(*S. flexneri* 3a)による赤痢患者発生があったことから、当該店での感染が疑われた。薬剤感受性では、臨床での利用頻度が高いフルオロキノロン系抗菌薬およびセフェム系抗菌薬に耐性を示す菌株が分離され、血清型はいずれも*S. sonnei*であった。フルオロキノロン耐性株が分離された患者はいずれもインドへの渡航歴があった。赤痢菌のフルオロキノロン耐性株は2008年から連続して分離されており、その全ての例でインドへの渡航歴があった。セフェム耐性株はトルコへの渡航歴のある患者4例から分離され、いずれもCTX-M-1グループの耐性遺伝子を持つESBL産生菌であった。いずれの薬剤も臨床面

で利用頻度の高い薬剤であることから、その動向を今後も注視する必要がある。

表2 県内で分離された赤痢菌

血清型	推定感染地		計
	国内	海外	
<i>S. flexneri</i> 1b		1	1
<i>S. flexneri</i> 3a	1		1
<i>S. sonnei</i>		7	7
計	1	8	9

2 腸管出血性大腸菌

県内で分離された86株の内訳を表3に示した。もっとも多く検出された血清型は例年通りO157:H7(42株)で、次いでO157:H-とO26:H11が15株ずつ分離された。その他の血清型の分離数は全て3株以下で、散发例での集積性は見られなかった。分離された86株のうち26株は患者発生に伴う家族検便や、給食従事者に対する定期検便で非発症者から検出されたものであった。

患者の発生状況では、大きな集団感染事例はなく、PFGEによる型別でも明らかな集積性は見られなかった。

薬剤感受性では、赤痢菌同様フルオロキノロン系抗菌薬およびセフェム系抗菌薬に耐性を示す菌株が1株ずつ分離された。フルオロキノロン耐性株は血清型OUT:H-で、業態者検便で分離された。セフェム耐性株は血清型O121:H19で、CTX-M-65の耐性遺伝子を持つESBL産生菌であった。

2012年は前年と比較して分離株数が減少した。これは焼き肉チェーン店による死者を含む多数の患者発生があった食中毒事例などを受けた衛生指導の強化や、2012年7月1日から牛生レバーの生食としての販売・提供が禁止されるなど様々な施策が一定の効果を挙げたものと考えられる。その反面、全国的には、北海道での浅漬けを原因とする集団発生や加熱用生レバーの生食など、依然として提供者や消費者に対する啓発の不足を感じる事例が発生した。今後ともその動向を注視し、その防止に関する啓発活動を継続する必要がある。

表3 県内で分離された腸管出血性大腸菌

血清型	毒素型	検出数	血清型	毒素型	検出数
0157:H7	VT1&2	26	0103:H2	VT1	1
0157:H7	VT2	16	0111:H-	VT1	1
0157:H-	VT1&2	6	0121:H19	VT2	1
0157:H-	VT2	8	0128:H2	VT1&2	1
0157:H-	VT1	1	0145:H-	VT2	2
026:H11	VT1	15	0145:H-	VT1	1
026:H-	VT2	2	0165:HUT	VT1&2	1
026:H-	VT1	1	OUT:H-	VT1	1
08:H19	VT1&2	1			
091:H-	VT1	1			
			合計		86